



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月29日

上場会社名 サトレストランシシステムズ株式会社

上場取引所 大

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 寺島 康雄

TEL 072-227-5901

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	12,225	0.5	400	0.1	310	6.6	△19	—
22年3月期第2四半期	12,164	△7.3	400	152.3	291	173.1	172	601.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△0.77	—
22年3月期第2四半期	6.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第2四半期	21,603	375.48	9,433	43.7	375.48	
22年3月期	21,607	380.00	9,547	44.2	380.00	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 9,433百万円 22年3月期 9,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,300	1.6	800	34.9	600	50.5	100	△58.5	3.98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 25,394,380株 22年3月期 25,394,380株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 271,611株 22年3月期 268,311株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 25,124,598株 22年3月期2Q 25,130,412株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社は平成22年10月1日に設立しました「サト・アークランドフードサービス株式会社」について、平成23年3月期第3四半期(平成22年12月31日)より当社連結対象といたします。今期の当社業績に与える影響に関しましては、精査中であり確定次第お知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や生産の持ち直し、企業収益の改善等により、自律回復に向けた動きもみられますが、依然として厳しい雇用環境や所得環境が継続しており、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株価の変動などのリスクが顕在化し厳しい状況が続いております。

外食産業におきましても、個人消費が低迷する中、業種業態を越えた価格競争等の激化により経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進するとともに、コストの見直しを継続推進し、収益力の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、郊外和食業態「和食さと」で1店舗の新規出店と1店舗の閉店を行いましたので、当第2四半期会計期間末の店舗数は209店舗となりました。その内訳は、郊外和食店196店舗、すし半店13店舗であります。

営業施策では、主力の郊外和食店「和食さと」では、春のメニュー変更時にしゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」を、5種類のだしの中から2種を同時に楽しめる「さとしゃぶ二色鍋」へバリューアップしました。6月には、「しゃぶしゃぶ食べ放題1周年記念&父の日キャンペーン」を実施、7・8月には、「さとの夏得キャンペーン」を実施しました。「すし半」におきましても、素材にこだわった「夏のはも料理」や「国内産うなぎ」などを期間限定で販売し好評をいただきました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高122億25百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益4億円（前年同四半期比0.1%増）、経常利益3億10百万円（前年同四半期比6.6%増）、「資産除去債務に関する会計基準」の適用による過年度分の特別損失計上により、四半期純損失19百万円（前年同四半期は1億72百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、216億3百万円（前事業年度末比3百万円の減少）となりました。

流動資産は34億53百万円（前事業年度末比2億8百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金2億円の増加によるものであります。

固定資産は181億50百万円（前事業年度末比2億12百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の減少78百万円、差入保証金の減少86百万円などであります。

流動負債は、51億22百万円（前事業年度末比64百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の増加1億35百万円、未払金の減少1億15百万円、関係会社事業損失引当金の減少53百万円などであります。

固定負債は、70億47百万円（前事業年度末比1億75百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の減少81百万円、資産除去債務の増加2億22百万円などであります。

純資産は、94億33百万円（前事業年度末比1億14百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べ2億円増加し、24億38百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、4億円（前年同四半期比6.2%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益1億65百万円、減価償却費3億66百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億54百万円などによる増加と、未払金の減少1億15百万円や利息の支払額1億2百万円などによる減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億42百万円（前年同四半期は31百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億3百万円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、41百万円（前年同四半期比91.6%減）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年5月14日に公表した平成23年3月期の業績予想を平成22年10月28日に修正しております。

詳細につきましては、「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成22年10月28日開示）をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ9百万円減少しており、税引前四半期純利益は1億64百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2億20百万円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,438,137	2,237,494
売掛金	158,954	151,462
商品及び製品	143,625	138,984
原材料及び貯蔵品	334,926	329,035
繰延税金資産	144,855	202,796
その他	232,542	184,827
流動資産合計	3,453,040	3,244,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,602,696	2,665,398
土地	9,425,318	9,425,318
その他(純額)	768,911	722,410
有形固定資産合計	12,796,926	12,813,127
無形固定資産	238,110	237,462
投資その他の資産		
投資有価証券	444,932	523,791
長期貸付金	476,696	467,068
差入保証金	3,303,080	3,389,654
繰延税金資産	510,031	570,685
その他	380,473	360,758
投資その他の資産合計	5,115,215	5,311,959
固定資産合計	18,150,253	18,362,549
資産合計	21,603,294	21,607,150

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	477,546	484,101
短期借入金	2,961,796	2,825,800
未払金	935,895	1,051,284
未払法人税等	89,828	139,851
未払消費税等	84,663	78,001
賞与引当金	184,800	203,000
店舗閉鎖損失引当金	56,853	56,853
関係会社事業損失引当金	—	53,000
その他	331,066	295,452
流動負債合計	5,122,449	5,187,345
固定負債		
長期借入金	5,578,072	5,659,300
再評価に係る繰延税金負債	917,768	917,768
役員退職慰労引当金	31,403	31,403
資産除去債務	222,818	—
その他	297,631	263,363
固定負債合計	7,047,694	6,871,835
負債合計	12,170,143	12,059,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,592,458	5,592,458
資本剰余金	3,224,180	3,224,180
利益剰余金	704,763	724,079
自己株式	△192,528	△190,627
株主資本合計	9,328,873	9,350,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,921	78,680
土地再評価差額金	119,198	119,198
評価・換算差額等合計	104,276	197,878
純資産合計	9,433,150	9,547,969
負債純資産合計	21,603,294	21,607,150

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	12,164,931	12,225,225
売上原価	3,456,321	3,549,512
売上総利益	8,708,610	8,675,712
販売費及び一般管理費	8,308,213	8,274,921
営業利益	400,396	400,791
営業外収益		
受取利息	6,589	5,905
受取配当金	9,345	8,720
受取家賃	69,398	62,208
雑収入	32,844	28,501
営業外収益合計	118,177	105,335
営業外費用		
支払利息	109,524	102,569
不動産賃貸費用	60,181	50,580
雑損失	57,624	42,509
営業外費用合計	227,330	195,659
経常利益	291,243	310,467
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	—	22,419
特別利益合計	—	22,419
特別損失		
固定資産除却損	8,412	12,937
賃貸借契約解約損	—	109
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,350	—
早期割増退職金	6,529	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,814
特別損失合計	16,291	167,861
税引前四半期純利益	274,951	165,025
法人税、住民税及び事業税	49,895	49,553
法人税等調整額	52,893	134,787
法人税等合計	102,788	184,341
四半期純利益	172,162	△19,316

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	6,501,939	6,534,428
売上原価	1,830,295	1,859,242
売上総利益	4,671,643	4,675,185
販売費及び一般管理費	4,187,289	4,171,678
営業利益	484,354	503,506
営業外収益		
受取利息	3,298	3,004
受取配当金	1,150	1,250
受取家賃	34,699	31,283
雑収入	9,459	8,827
営業外収益合計	48,607	44,365
営業外費用		
支払利息	56,844	52,567
不動産賃貸費用	30,157	25,514
雑損失	30,218	23,028
営業外費用合計	117,221	101,110
経常利益	415,740	446,762
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	—	22,419
特別利益合計	—	22,419
特別損失		
固定資産除却損	3,842	6,538
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,350	—
特別損失合計	5,192	6,538
税引前四半期純利益	410,548	462,643
法人税、住民税及び事業税	24,709	24,548
法人税等調整額	45,195	101,102
法人税等合計	69,905	125,651
四半期純利益	340,643	336,991

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	274,951	165,025
減価償却費	393,978	366,936
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,814
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,000	△18,200
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△45,835	—
関係会社事業損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△53,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△47,408	—
受取利息及び受取配当金	△15,934	△14,625
支払利息	109,524	102,569
有形固定資産除却損	7,730	12,937
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,575	△7,492
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△101,485	△10,531
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,660	△6,555
未払金の増減額 (△は減少)	△47,084	△115,389
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,447	6,661
その他	104,765	9,786
小計	628,732	592,937
利息及び配当金の受取額	9,447	8,794
利息の支払額	△110,523	△102,434
法人税等の支払額	△101,115	△99,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	426,541	400,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△30,936
関係会社株式の取得による支出	—	△49,980
関係会社出資金の売却による収入	—	45,699
有形固定資産の取得による支出	△153,027	△203,205
無形固定資産の取得による支出	—	△10,075
差入保証金の差入による支出	△55	△201
差入保証金の回収による収入	177,684	96,775
建設協力金の支払による支出	—	△30,000
建設協力金の回収による収入	35,888	34,788
その他	△29,335	△95,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,154	△242,660
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	270,000	33,000
長期借入れによる収入	2,220,000	1,890,000
長期借入金の返済による支出	△1,988,030	△1,868,232
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,285	△11,629
自己株式の取得による支出	△511	△1,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	492,173	41,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,104	1,935
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	957,973	200,642
現金及び現金同等物の期首残高	1,597,399	2,237,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,555,372	2,438,137

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。